

科目区分	専門基礎分野	科目番号	0505	曜日時間	火曜日
授業科目	リハビリテーション療法				
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2年次後期
担当教員	三角園 祐司				
授業目的	機能障害から影響を受けた生活を、自分自身で調整する能力を育むリハビリテーションの方法を学び、援助する方法を理解する。				
授業目標	1. 対象であるその人がもつ機能障害を理解し、その特徴に応じたリハビリテーションの方法を学ぶ。 2. リハビリテーションに関係する職種を学び、協働でその人の生活を支える連携を学ぶ。 3. 生きる意味や生命の質を考え、生活が調整困難な部分を知り、それに対する援助方法を考える。				
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当
	8	1. リハビリテーション概論 定義と理念、障害者の実態、障害の分類と構造、分野、医療システム 2. リハビリテーション看護概論 看護の確立、看護機能、障害に対する態度、看護の方法論 3. 運動器系の障害とリハビリテーション看護 総論 (運動系の障害の動向) 骨折 (治療とリハビリテーションと看護、末梢神経障害、関節拘縮、筋萎縮) 関節リウマチ (リハビリテーションと看護) 4. 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 脳血管障害 (意識障害・運動障害・構音障害失語症・摂食嚥下障害・失認失行・知能記憶障害・排便排尿障害) パーキンソン病 (運動機能障害、言語障害、呼吸障害、自律神経障害、精神機能障害) 脊髄損傷 (対麻痺、呼吸機能障害、排尿排便障害、性機能障害、自律神経機能障害) 5. 呼吸・循環器系の障害のリハビリテーション看護 慢性閉塞性肺疾患、虚血性心疾患の生活リハビリテーション 6. 感覚器系の障害とリハビリテーション看護 視覚障害、聴覚障害の機能障害と生活	講義	16	三角園 祐司
終了後課題					
評価計画方法	筆記試験・授業態度				
テキスト参考図書	武田宜子ほか:系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護【電子版】，医学書院				
実務歴有	理学療法士				
講義への反映	病院勤務での実践を活かし、回復に必要な援助としてのリハビリテーションを教授する。				
備考					